

青野ヶ原演習場内の慰霊碑及び海軍航空隊鶉野飛行場の 祈念碑 清掃及び慰霊行事

令和6年7月28日（日）に東播支部（支部長 石田 真一）は、支部長以下28名の参加を得て、気温35度を超える酷暑の中、青野ヶ原演習場内の慰霊碑（2カ所）及び海軍航空隊鶉野飛行場跡地にある祈念碑にて、草刈などの環境整備と慰霊行事を行いました。今回は行事初参加の柴田会員、久しぶりの行事参加が叶った永見会員とともに、皆が大粒の汗を流しながらの会員交流となりました。

演習場内の慰霊碑においては、早朝5時ごろから除草・剪定作業を行うとともに、慰霊行事ではお寺の住職でもある高倉理事役の読経のもと、若くして殉職された方々に対し、参加者一人ひとりが慰霊の気持ちを表しました。

早朝より黙々と慰霊碑周りの整備を行う会員たち



慰霊行事終了後は、慰霊碑前において、初参加の永見会員を紹介したあと、事務連絡の伝達、並びに本年度兵庫県隊友会会長表彰の受賞者である木村 龍朗 会員に対して石田支部長から表彰状の伝達が行われ、青野ヶ原演習場の慰霊碑清掃及び慰霊行事を終了しました。

殉職された隊員への慰霊



木村 龍朗 会員 表彰状伝達



青野ヶ原演習場を出発して、姫路海軍航空隊鶴野飛行場跡地に移動（午前7時30分頃）した我々は、祈念碑保存会及びライオンズクラブの方々と共に作業を行う予定でしたが、同保存会及びライオンズクラブの方々の到着が遅くれたため、東播支部会員が除草作業の大半を行うこととなりました。

作業終了後には、本年度の支部長表彰対象者である空中 理事役に対して表彰状授与を行いました。我々は、s o r a加西（戦闘機（紫電改等）が展示されている資料館や祈念碑がある場所）に移動し、お花と線香をお供えし、高倉理事役による読経のもと、参加会員による慰霊行事を行いました。

慰霊碑清掃及び慰霊行事終了後の集合写真



最後に、慰霊行事の全てが終了したところで、サツマイモ畑の草取りを行うことを説明し、参加可能な会員の方々にサツマイモ畑へ移動して頂きました。7月初旬に一度除草しているものの、草の成長が早いため再び除草を行いました。今年のサツマイモ収穫祭は、現職隊員たちの訓練都合により、時期をずらして計画する予定です。一人でも多くの自衛官及びそのご家族の参加を期待して、盛大な収穫祭が行えるよう準備してまいります。

猛暑の中サツマイモ畑の草取りを行う会員たち



除草作業終了後のサツマイモ畑と記念撮影

